

兵庫県立大学における 大学発ベンチャー／起業・スタートアップへの支援について

兵庫県立大学では、大学発の新産業創出を活性化していくため、産学連携・研究推進機構が中心になって、教員による大学発ベンチャーの立ち上げ、学生向けの起業マインドの育成などに取り組んでいます。

近年は、国、科学技術振興機構（JST）などにおいても、公的資金（大学発新産業創出プログラムなど）による事業化支援が積極的に行われるようになっており、本学でも、国メニューの活用、県や関係機関との連携事業などに積極的に取り組んでいます。

1 起業人材育成プログラム【本学独自メニュー＝兵庫県補助事業・令和3年9月～】

県立大学においても、起業をめざす学生が出てきています。起業プラザひょうご（神戸、姫路）と連携し、テクノロジー、グローバルに軸足を置いて、講座とメンタリングを組み合わせた若者向けの伴走型支援を実施します（令和3年度新規）。

- (1) 募集対象 県立大学の学生など 約30人
県立大学の学生を中心に、近隣大学の学生等も含む（現在26人申込）
- (2) 実施期間 令和3年9月下旬～令和4年2月
講義は火曜日 18時00分～19時30分
- (3) 進め方
講座（オフライン&オンライン）とメンタリングを組み合わせ、相乗効果を生み出すハンズオン支援（伴走型支援）を重視する。
- (4) 主な内容
 - ① メンタリング編
 - ・オリエンテーション
 - ・個別ヒアリング
参加者ごとに起業マインド、ゴールイメージの確認
学生がやりたいことを形にしていく（レッドオーシャンでも構わない）
 - ・プレ発表会（先輩起業家の前で発表）
起業の経験、技術的なことなど、学生にここを考えてほしい点を指摘
 - ・アドバイザーマッチング
志向が近い先輩とマッチングして、個別にじっくりと話をしてもらう。
 - ・ビジネスプラン発表
 - ・ビジネスプラン発表を終えて（意見交換）
 - ② 講義編
 - ・ビジネスモデル設計・デザイン志向
 - ・テクノロジー解説（AI、IoT、BD）と事業例
 - ・資金調達～金融機関
 - ・事業計画作成／ビジネスモデル設計～中小企業診断士（兵庫県立大学 MBA 卒業生）
 - ・法務／知財／インターネット活用など～同上

2 京阪神スタートアップアカデミア・コアリションの起業活動支援プログラム

(1) 背景

2020年7月、「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」（内閣府公募事業）に、神戸商工会議所、兵庫県、神戸市、大学、民間組織等で構成する「ひょうご・神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム」が、大阪、京都のコンソーシアムとともに、「グローバル拠点都市」として選定されました。

拠点都市においては、大学発の新産業創出を活性化していくため、大学などが実施する①事業化に向けた研究開発、②アントレプレナー人材の育成に対して、国からの資金支援が行われます。

(2) 起業活動支援プログラム（GAPファンド）の公募

この一環として、関西の14大学などが参画する「京阪神スタートアップアカデミア・コアリション」（主幹機関：京都大学）が、国から大学発新産業創出プログラム＜社会還元加速プログラム（SCORE）大学推進型（拠点都市環境整備型）＞の採択を受けました。

このプログラムを活用し、令和2年度には、事業化に向けた研究開発への資金助成を行う「起業活動支援プログラム（GAPファンド）」が設けられました。

（公募概要）

- ① ファンド規模 2.1億円（各10,000千円上限） ※ 関西全体での規模
- ② 募集領域 ものづくり、アグリビジネス、情報通信、ライフサイエンス
ヘルスケア、人文社会、学生主導

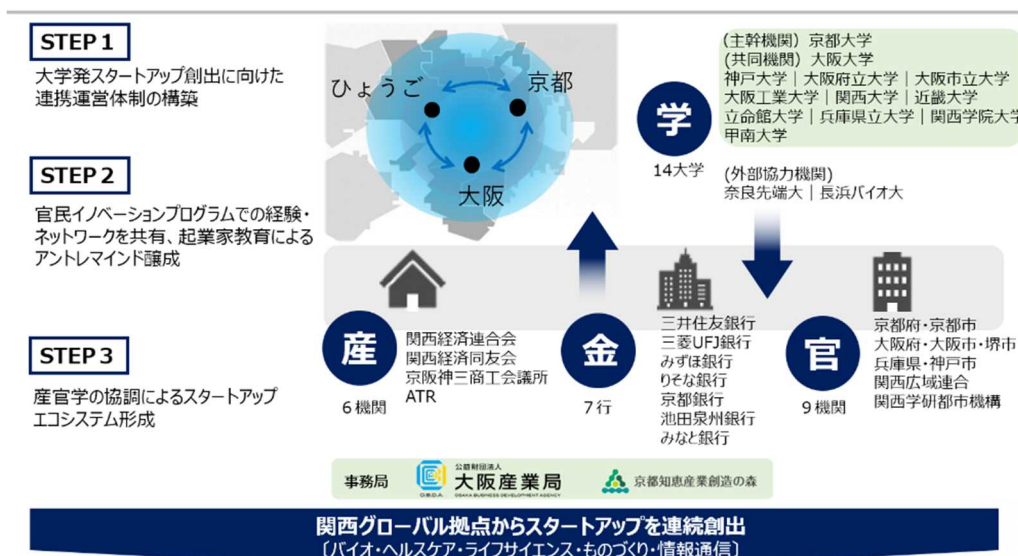
※ 兵庫県立大学でも学内選考を経て、5件の研究開発計画を提案しています

（採択結果は9月上旬にあらためて発表します）

【参考】GAPファンド

事業化に向けて、研究機関に属する研究成果と事業化との間のギャップを埋めるため、仮説検証のためのデータ（実験結果、計算結果）を得てPoCを得る、あるいは、試作品製作、ビジネスモデルのブラッシュアップ、等を進めるための資金

京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション



競争力の高い
スタートアップの連続創出

【参考資料（これまでの実績等）】

1 大学発新産業創出プログラム＝STRAT への採択【令和2年10月】

大学発ベンチャーの起業前段階から、ポテンシャルの高い技術シーズに対して、市場や出口を見据えて、公的資金と民間ノウハウを提供する制度

- 本学の採択プロジェクト名／研究代表者
ワンショット・ナノレベル表面形状測定機の事業化（工学研究科 佐藤邦弘特任教授）
 - プロジェクト概要
電子部品や機械部品などの表面凹凸や平坦度を、高精度・大面積・ワンショットで測定可能な装置の開発。開発・製造・販売に至る事業化を行うベンチャー設立をめざす
- ※応募76件のうち採択9件（国立研究開発法人、国立大学以外では本学が唯一）

※ JST「大学発新産業創出プログラム（START）」

事業化ノウハウを持った人材（「事業プロモーター」）ユニットを活用し、大学等発ベンチャーの起業前段階から、研究開発・事業育成のための公的資金と民間の事業化ノウハウ等を組み合わせることにより、ポテンシャルの高い技術シーズに関して、事業戦略・知財戦略を構築しつつ、市場や出口を見据えて事業化を目指す制度。これにより、大学等の研究成果の社会還元を実現し、持続的な仕組みとしての日本型イノベーションモデルの構築を目指す。

2 教員による大学発ベンチャー設立の現状

設置年月	企業名	事業内容	関係教員
令和3年 2月	(株)ヒュー ステック	アナログ・デジタル電子回廊技術を駆使した知育・療育機器の設計・デザイン業務およびウェアラブル機器を用いた健康管理サービスの提供	工学研究科： 堀田育志准教授 (取締役： CTO)
平成25 年 11月	アフォード センス(株)	健康モニタリングデバイス、健康管理システム並びにセンサネットワーク及びシステム分野にかかわる研究、設計、開発、試作、販売及びコンサルティング	工学研究科： 前中一介教授 (顧問)
平成25 年 4月	ナノジーク スジャパン (株)	特異な性状を有する酸化チタンナノ材料（nanoZX）の開発、製造、および販売 製品の製造技術ノウハウの指導と技術ライセンス販売	工学研究科： 河南治教授（取 締役）
平成16 年 5月	(株)ニース ラボラトリ ーズ	電解析出（メッキ法）により生成するNi-W ナノ結晶合金（曲げても割れない硬質材料）等を用いた情報通信システム等の装置部品の開発・製造等の技術指導業務等	高度研： 望月孝晏客員教 授（取締役）

※ 兵庫県立大学の大学発ベンチャー支援

認定大学発ベンチャー支援を強化（令和2年5月）

- ・ インキュベーションセンター等の施設の利用と貸与した施設を所在地とする商業登記
- ・ 研究設備等の利用
- ・ 兼業時間が通常 120 時間/年からベンチャーとの兼業時間は 360 時間/年に増加
- ・ 産学連携・研究推進機構の CD 等が技術相談等の対応を仲介 等

3 起業に取り組む現役学生

- (1) 中嶋 翼・木村拳己（Tuneup.hp=チューンアップドットエイチピー）／工学部4年
ホームページやECサイトを効果的に活用して比較的若い世代の顧客を獲得しようとしている企業向けに、フルカスタマイズのホームページやECサイトを制作。工学部の現役学生であり、最大の強みである技術力と、若者をターゲットにしたコンセプト提案力を特徴としている。大学院に進学後も事業を継続していく予定。

<https://tuneup-hpcreate.com>

- (2) 大野 陽菜（海と僕。）／国際商経学部グローバルビジネスコース2年
世界的に深刻な社会課題である海洋プラスチック問題の解決にむけて、ペットボトルに代わるマイボトルの使用を普及させるため、水筒専門のオンラインセレクトショップを準備中で、マイボトルを使い続けやすい環境の構築をめざしている。

関西若手起業家ピッチコンテスト～U-25 kansai pitch contest vol.6

に登壇、神戸新聞社賞を受賞（2021年8月27日金曜日）

<https://u25.billage.space/archive/20210827/>

- ※ このほかにも、育成プログラムに参加する学生からは、バイオエネルギーの活用、フードロス問題の解決、医療従事者のサポートなど、起業するまでには至っていないものの、大学などで学んできたことをベースにして、ビジネスとして社会課題の解決を実現したいとの積極的な意見が寄せられています。

（担当）

理事兼副学長／産学連携・研究推進機構長 畑 豊
事務局大学改革推進室長 行司 高博
電話 078-794-6635